

昭和58年度 役員

理事	会 長	横 山 勝 義	理事	庶 務	渡 辺 忠	理事	国 際	横 井 満
"	副 会 長	佐 久 間 孝	"	会 計	伏 見 多 美 雄	"	無 任 所	飯 田 徳 雄
"	"	三 根 久	"	研 究 普 及	今 野 浩	"	"	権 藤 元
"	"	森 村 英 典	"	"	平 本 巖	"	"	関 口 恭 毅
"	庶 務	今 野 衛 司	"	編 集	刀 根 薫	監 事	阿 部 統	統 統
"	"	若 山 邦 紘	"	"	牧 野 都 治	"	八 卷 直 躬	躬 躬

新フェローの紹介

フェロー会議より理事会へ新フェローとして井上文左衛門，今川貞郎，御園生善尚，依田浩の4氏が推薦され，4月12日の理事会で承認されましたのでご紹介します。

井上 文左衛門 (いのうえ ぶんざえもん) 氏

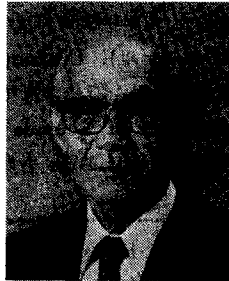
明治39年8月31日生

現住所 伊丹市車塚2丁目
115番地

学 歴 昭和5年3月

東京帝国大学
工学部電気科
卒

職 歴 昭和5年4月



㈱住友電線製造所入社(住友電
気工業㈱前身)

昭和29年11月 住友電気工業株式会社取締役

昭和31年5月 同 社 常務取締役

昭和33年11月 同 社 専務取締役

昭和37年6月 日本ダンロップゴム㈱副社長
(住友ゴム工業㈱前身)

昭和38年10月 住友ゴム工業株式会社

代表取締役社長

昭和44年6月 同 社 代表取締役会長

昭和49年2月 同 社 取締役相談役

昭和53年3月 同 社 相談役

(現在に至る)

賞 罰 昭和45年4月 藍綬褒章受賞

昭和52年11月 勲三等旭日中綬賞

井上氏は本学会設立当初の昭和34年，関西支部設立に努力され，また，昭和37，38年度には副会長として，昭和37年より昭和46年まで評議員として学会の発展に，関西支部の発展に尽力されました。

今川 貞郎 (いまがわ さだお) 氏

大正6年10月12日生

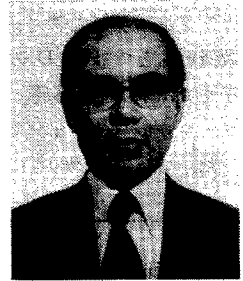
現住所 武蔵野市境南町3-
15-17

学 歴 昭和16年3月

東大工学部電
気工学科卒業

職 歴 昭和16年4月

通信省工務局



昭和16年~20年 海軍短期現役技術将校

昭和22年4月 呉電気通信工事局長

昭和24年~28年 連合軍総司令部と電気通信省
との連絡官

昭和31年 近畿電気通信局保全部長

昭和34年 東北電気通信局仙台電話局長

昭和36年~38年 電々公社本社計画局

昭和38年 中国電気通信局副局長

昭和39年 電々公社本社経営調査室次長

昭和42年 電々公社退職，富士通㈱入社

昭和52年 富士通インターナショナルエン
지니어リング取締役

昭和56年~現在 同 社 顧問

今川氏は本学会の常務理事を昭和40，41年に，副会長を昭和55，56年に，評議員を昭和40年~47年と歴任され特に昭和41年の中国・四国支部設立に当っては，当時庶務担当常務理事として多大な努力を払われました。また長年電々公社におられ，電々公社でのORの推進，会員の拡充にも尽力されました。

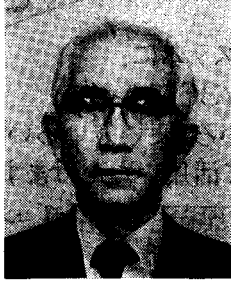
御園生 善尚 (みそのう よしなお) 氏

大正13年10月20日生

現住所 仙台市荒巻神明町14
-16

学 歴 昭和24年3月
東北大学理学
部数学科卒業

職 歴 昭和32年4月
東北大学教養
部講師



昭和34年10月 同上 助教授

昭和40年1月 同上 教授

著 書 統計学大要 (養賢堂)
経済学のための数学解析入門 (廣川書店)

御園生氏は本学会の東北支部設立当初から運営委員として、また昭和45年から現在まで支部の副支部長として東北へのORの推進普及にと、東北支部を支えてこられました。またこの間昭和42年から現在まで評議員、昭和44、45、54、55年には理事としてご活躍いただきました。

依田 浩 (よだ ひろし) 氏

大正2年10月25日生

現住所 名古屋市千種区城木
町2-30

学 歴 昭和14年3月
東北帝国大学
理学部数学科
卒業

職 歴 昭和14年4月
名古屋高等工業学校講師



昭和16年2月 同上 教授

昭和24年7月 名古屋工業大学助教授

昭和38年2月 同上 教授

昭和52年4月 同上 名誉教授
名城大学理工学部教授

OR学会役員

評議員 昭和41~49年, 53~56年

理 事 昭和51, 52年

依田氏は本学会の中部支部設立当初から運営委員として活躍し、また評議員も多年にわたり、理事としても昭和51、52年度には本部の運営にご協力いただきました。

特に中部支部の年中行事である定例講演会の講師、座談会等にもたびたび出席され、中部支部の基礎を築かれました。